

棚POWER[®] 2013



主な新機能

棚割検討の精度・効率化を追求

最新の棚POWERでは「売上予測」「什器の台別での分析集計」など、棚割を検討する上で参考になる大小さまざまな新機能を搭載しています。

また、ご好評いただいている「図形配置」機能では、棚割上に画像を配置できる「画像挿入」機能の新設を行ないました。売場の再現や提案内容の補足など、これまで以上に自由な感覚で棚割を作成する事ができます。

更に、棚割編集集中でも「データ移行」機能を利用できるようになるなど、操作性の向上や作業時間の短縮にも力を注いでいます。皆様の棚割検討のレベルアップ・効率化に役立てていただければ幸いです。

目次

◆棚割検討・作成サポート P2, P3

- ・売上予測
- ・棚割編集集中に商品の細かな分析値を確認
- ・陳列スペースの残り幅を表示
- ・什器の台別の集計値を帳票として出力

◆操作性の向上 P3, P4

- ・棚割編集集中にデータ移行機能を利用可能
- ・商品リストの商品を、どのゾーンに陳列するべきか一目で確認
- ・仮置き内で商品の面変更が可能に
- ・棚板ごとに圧縮率を数値で調整
- ・平台に陳列時「商品の重なりを許可する」かどうかを選択可能
- ・サーバー登録商品を手軽に確認
- ・棚割モデルを、名称や作成者氏名で検索可能に
- ・棚割モデル検索時にモデルコメントを確認・出力

◆操作時間の短縮 P5

- ・棚割編集スタート時の起動速度を向上
- ・複数の棚割モデルを自動的に並べて表示
- ・データの登録・編集に関する効率化

◆棚割表現・ビジュアル表現の向上 P6

- ・JPEGなどの画像ファイルを自由に貼り付け
- ・別商品積上げや手前挿入を行なっても圧縮陳列が可能
- ・棚割表出力時、フェイス数に合わせてExcelのセル数を変更可能に
- ・棚割図で、什器にまたがる商品を分断して表示

◆その他 細部の改善 P6

- ・POS分析の自動レポートで、ExcelのSheet名に分析名を表示
- ・図形配置タブに「詳細設定」機能の追加
- ・旧棚POWERの形式（MDL形式）で棚割モデルを保存

棚割検討・作成のサポート

売上予測機能で、陳列の変化による売上変動を予測

売上予測機能では、陳列を変更する事で売上がどう変化するかを予測します。
現在の棚割・売上を元に新たな棚割を計画する場合などに、参考情報として利用できます。



「棚割単位」「商品単位」で予測値を表示

売上予測を実行すると、棚割全体の予測値が画面上に表示されます。
陳列位置やフェイス数などを変更すると、連動して予測値も変化していきます。

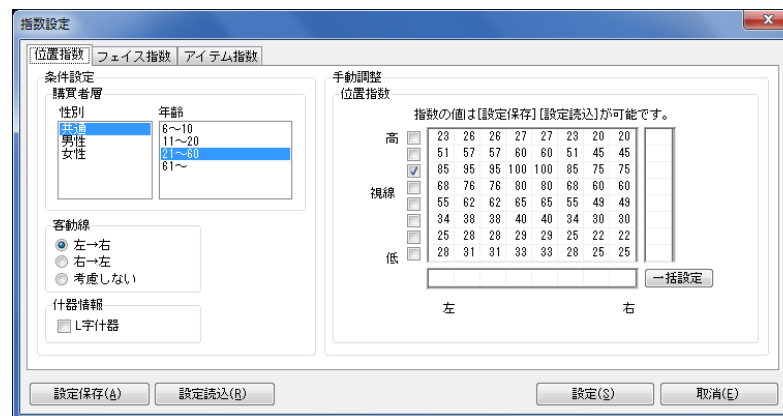


「単品明細」ボタンで、商品ごとの売上・予測値を確認する事もできます。
Excel やPDFファイルに出力できるため、提案書の補足資料などに利用できます。



商品の【位置】 【フェイス数】 【その他の要素】を組み合わせて予測

予測の計算は、商品の「位置」「フェイス数」「その他の要素」を組み合わせて行ないます。



【位置指数】

購買者層や客動線などの条件によって初期値が自動的に決まります。
位置指数の初期値は食品・日用品売場での販売傾向調査を元に決定されています。
手動で各エリアの値を調整する事もできます。

【フェイス指数】

商品のフェイス数が売上に与える影響を指数化し、棚割上のフェイス数が変更された際の売上を予測します。

【アイテム指数】

販促活動の有無、展開シーズンの変更、エリアの違い、競合製品との関係性など、「位置指数」「フェイス指数」以外の要素をアイテムごとに設定します。
自社商品のCM投下や展開時期による売上伸び率が分かれば、「アイテム指数」として入力する事で、より正確な予測をする事ができます。

新規陳列商品の売上を設定

初めて棚割に陳列する商品は、予測のベースとなる売上情報が存在しません。
そういった場合は、予測のための仮の売上情報を入力する事ができます。
これによって、売上情報の無い新規陳列商品も含めた予測計算をする事ができます。
仮の売上情報を入力する際は、参考情報として既存の陳列商品の売上情報を確認できます。

棚割検討・作成のサポート

棚割編集集中に商品の細かな分析値を確認



棚POWERの「ハイトライト」機能では、売上や商品分類など、さまざまな視点で商品の色分け表示する事ができます。今回のバージョンアップでは、色分けと同時に商品の分析値を確認する事ができるようになりました。確認したい商品にマウスカーソルを合わせると、画面上に商品の実数値(売上、売価、粗利率など)が表示されます。

カット商品を選択する際などに、「まず色分けでだまかに絞り込み、実数値を確認して単品を決定する」という事ができるようになります。

陳列スペースの残り幅を表示

棚割編集集中に、陳列商品や仕器にマウスカーソルを合わせると、その棚に陳列できる残り幅を確認する事ができます。

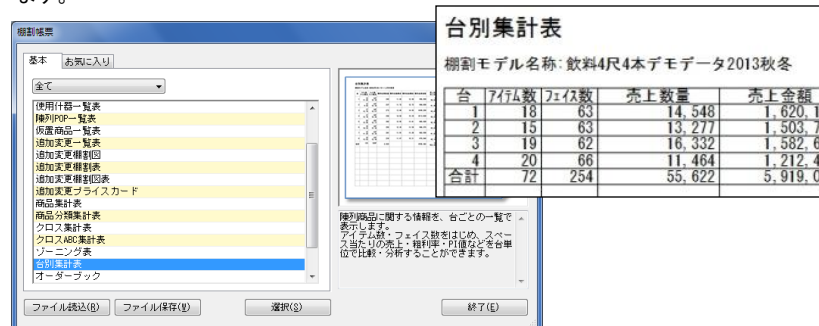
画面下部に表示される残り幅を見て、商品リストから適した商品を探す事ができます。



仕器の台別の集計値を帳票として出力

陳列商品に関する情報(アイテム数、フェイス数、スペース当たりの売上など)を、仕器の台単位で集計し、帳票として出力する事ができるようになりました。

仕器数の多い棚割でも、仕器単位の売上や商品構成の傾向を手軽に確認する事ができます。



操作性の向上

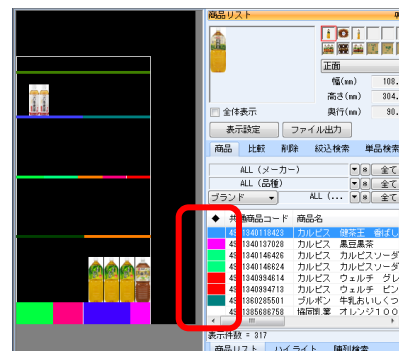
棚割編集集中でもデータ移行機能を利用可能

今回のバージョンから棚割編集であってもデータ移行機能を利用できるようになりました。各種データのエクスポート・インポート、サーバーへのデータアップロード・ダウンロードなどを、必要なタイミングで実行する事ができます。



どのゾーンに陳列すべき商品か一目で確認

ゾーニング機能で商品の配置エリアを決定すると、商品リストから陳列商品を検討する際に、どのゾーンに属する商品なのか色で判別が付くようになりました。



リスト内の色と仕器の棚色を見比べる事で、どのエリアに陳列すべき商品か判断する事ができます。

仮置き内で商品の面変更が可能



仮置情報の中の商品も、その場で陳列面を変更する事ができるようになりました。

今までは、陳列面の変更は棚に移動させてから行なう必要があったため、棚のスペースに余裕が無い場合は作業が煩雑でした。

今回のバージョンアップで、より手軽に棚割作成ができるようになりました。

模範モデル名称	作成者氏名	模範モデルコメント
飲料4R4本デモデータ2011秋冬	I Concept	B社、H社にて採用
飲料4R4本デモデータ2011秋冬	I Concept	A社、C社、D社、E社、F社で採用
飲料4R4本デモデータ2012秋冬	I Concept	新商品、廃替商品の入替のみ実施。改めて全体構成検討予定。

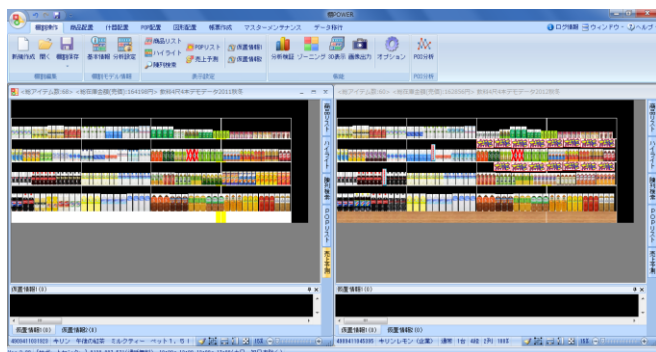
操作時間の短縮

棚割編集スタート時の起動速度を向上

「新規作成」や「開く」から棚割モデルの編集を始める際の起動速度を改善しました。商品リストでの分類絞り込みを行なわない事で、読み込み時間を短縮しています。

複数の棚割モデルを自動的に並べて表示

複数の棚割モデルを開くと、ウィンドウが自動的に並んで表示されます。毎回ウィンドウの並べ方を変更する手間が無くなり、スピーディーに作業を進める事ができます。

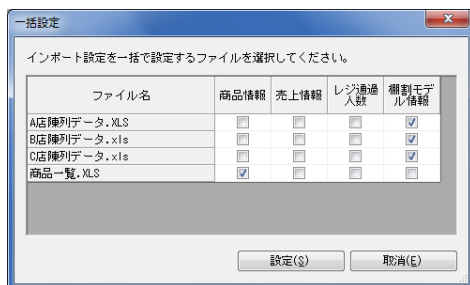


データの登録・編集に関する効率化

棚POWERのデータ登録に関する様々な機能を改善し、操作の手間を軽減しています。

テキストインポート時、複数のファイルを一括で設定

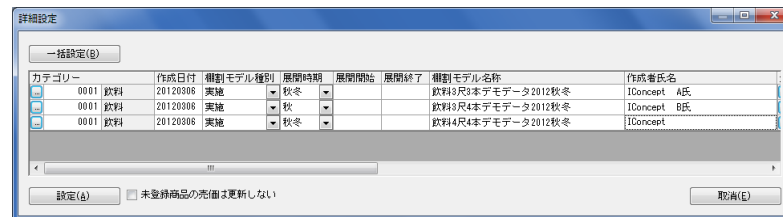
テキストインポートは、取り込むファイルの形式に合わせてデータを取り込みます。今までは複数のファイルを取り込む場合は一ファイルごとに設定をする必要がありましたが、今回のバージョンアップでは、同じ種類のデータに対しては一括で設定を行なう事ができるようになりました。



取引先から複数の棚割データを入力した場合なども、一度の設定で取り込む事ができます。

外部モデルをインポートする際に、基本情報をまとめて変更

「データ移行」タブから外部モデルをインポートする際に、「詳細設定」で棚割モデルの基本情報(棚割モデル名称、作成者氏名など)をまとめて変更してから取り込む事ができるようになりました。データの取り込みと編集を一度に終わらせる事ができます。

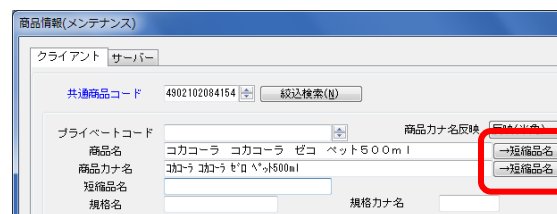


テキストファイルから棚割をインポート

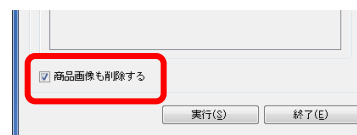
最新の棚POWERでは、一般的な棚割システムで作成された「棚割モデル」の形式でなくても、テキストファイルから棚割を取込む事ができるようになりました。これまでは、独自形式の棚割データはPTS形式などに変換しなくては取り込めませんでしたが、棚POWER側で条件を設定する事で取込む事ができます。

商品情報メンテナンスに「短縮品名」の適用ボタンを追加

「→短縮品名」ボタンをクリックすると、商品名や商品カナ名の内容を短縮品名に自動的に反映させる事ができるようになりました。登録にかかる時間を短縮する事ができます。



商品情報と商品画像を同時に一括削除



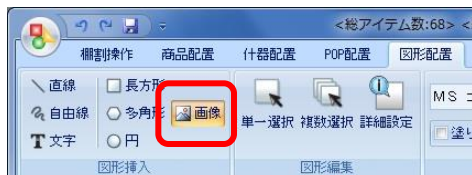
商品情報を一括削除する際に、商品画像も同時に削除できるようになりました。商品情報と商品画像を、二度に分けて操作する必要が無くなります。

棚割表現・ビジュアル表現の向上

JPEGなどの画像ファイルを自由に貼り付け

Office製品のように、手持ちの画像ファイルを自由に棚割モデルに貼り付ける事ができるようになりました。

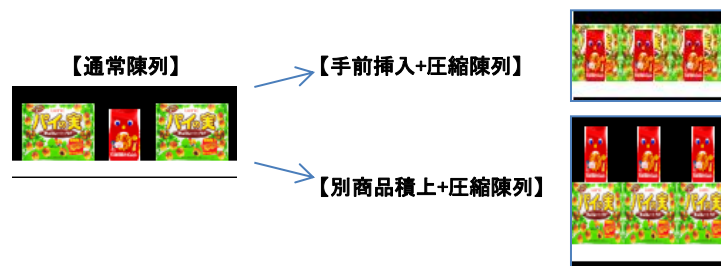
棚割上に一時的な販促物を貼り付けたり、余白に参考情報として「おまけ」や「クーポン」の画像を貼り付けたりするなど、さまざまな用途で利用する事ができます。



JPEG,BMP,GIFに対応しています。

別商品積上や手前挿入を行なっても圧縮陳列が可能

別商品積上げや、手前挿入を行なっている場合でも商品を圧縮して陳列する事ができるようになりました。これまで以上に色々な棚割を表現する事ができます。



棚割表をExcel出力時、フェイス数に合わせてセル数を調整

棚割表をExcelファイルに出力する際、フェイス数によってExcelの使用セル数を自動調整できるようになりました。商品ごとのフェイス数の違いを視覚的に判断する事ができます。

	2/ 4/ 1	2/ 4/ 2	2/ 4/ 3
8	4902102091855	45019562	3068320019734
9	コカコーラ いろはす ペット555ml	大塚製薬 ポカリスエット ペット200ml	エビアン エビアン ペット500ml
10			
11	6F	4F	3F

棚割図で、什器間にまたがる商品を分断して表示

棚割図を台別で出力する場合、什器と什器の間にまたがって陳列されている商品を分断して表示するのか、片側の什器に寄せて(什器をはみ出して)表示するのか選択できるようになりました。

「跨り商品を分断」 ON



「跨り商品を分断」 OFF



その他 機能追加・改善

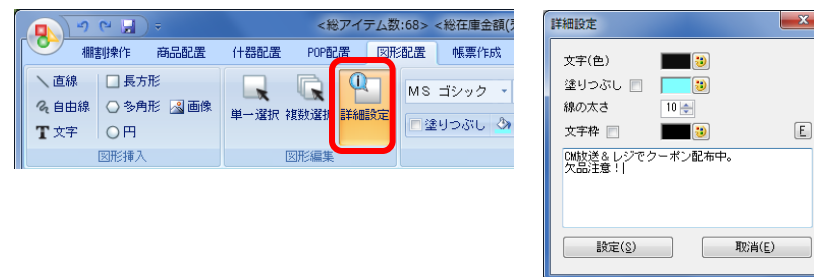
POS分析の「自動レポート」で、ExcelのSheet名に分析名を表示

「POS分析」機能の「自動レポート」では、複数の分析を一つのExcelファイルにまとめて出力する事ができます。今回のバージョンアップから、各Sheet名に分析名が表示されるようになり、どの分析かを一目で分かるようになりました。



図形配置タブに、「詳細設定」機能を追加

図形配置タブに「詳細設定」ボタンが追加されました。配置済みの図形をクリックすると、塗りつぶし色や枠線、文章(文字)などを再編集する事ができます。



旧棚POWERの形式(MDL形式)で棚割モデルを保存

棚POWERの棚割モデルの形式は、2011年のリニューアルを機に「MDL形式」から「TPW形式」へ変更されました。

リニューアル前後の棚POWER間で棚割モデルをやり取りするには、「モデルコンバージョン」で外部モデルの形式を変換するか、共通棚割情報である「PTS形式」でやり取りする必要があります。

最新の棚POWERからは、外部モデルを保存する時に旧形式である「MDL形式」も選択できるようになったため、後から棚割モデルを変換する必要がありません。

